



火の見やぐら



No. 5

ラッパ隊！

「検閲式で見かけるラッパ吹いてる人たちってだれ？」
そんな疑問に答えるべく、佐藤禎一ラッパ隊長に質問！

ラッパ隊はいつできたのでしょうか？

県中防災訓練が三春町で行われることを機に、団員の志気を高め、消防精神の高揚を目的として、平成9年10月に発足しました。当時の隊員のほとんど全員がラッパなどに触れた経験がなく、また、全員が分団に所属し、一般の消防活動以外にラッパの練習と不安だらけのスタートでした。最初のうちは「ラッパで火が消せるのか」と批判の声がありましたが、下手でも一生懸命訓練した成果を検閲式などで披露し、今ではラッパ吹奏なしの検閲式はありえないというほど浸透してきました。

ラッパ以外の楽器もあるようですが？

町外の消防ラッパ隊の活動に刺激を受け、平成19年度からはパーカッション(打楽器)をとり入れたドリル演奏(歩きながら演奏し様々な形態を作る演奏)を行っており、地区の敬老会、運動会などにも積極的に参加し、今年も三春の里収穫祭や三春秋まつりでドリル演奏を披露しました。

ラッパ隊は何名いるんですか？

現在は、ラッパ吹奏に特化した機能別団員が9名、分団に所属している基本団員との兼務が4名、うち女性が4名の計13名の隊員がおり、技術向上のため、月2回の定期訓練を基本に日々訓練を行っています。

最後に、みなさんにひとことお願いします。

今後もラッパ隊の活動にご理解とご協力をお願いするとともに、イベント等でお見かけの時は、暖かい声援をくださいますようお願いいたします。

